

スズキ、J.D. パワー 2024 年日本自動車初期品質調査で 初の総合第 1 位を受賞

スズキ株式会社は、CS（顧客満足度）に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社 J.D. パワー ジャパンの「2024 年日本自動車初期品質調査（Initial Quality Study、略称 IQS）」において、初の総合第 1 位を受賞しました。また、セグメント別ランキングでは、軽自動車 3 部門中 3 部門で第 1 位を受賞しました。

セグメント別ランキング

軽セダン	第 1 位	アルト
軽ハイトワゴン	第 1 位	ハスラー※
軽スーパーハイトワゴン	第 1 位	スペーシア

スズキは、「お客様の立場になって価値ある製品を作ろう」を社是の第一に掲げて製品作りをしてきました。これからも、お客様が扱いやすく、安心・安全で高品質な価値ある製品をご提供いたします。

※軽ハイトワゴンは 2 社が同率で 1 位

《J.D. パワー 2024 年日本自動車初期品質調査SM（IQS）概要》

年に一回、新車購入後 2～13 ヶ月経過したユーザーを対象に、所有する自動車の不具合経験を 9 カテゴリー225 項目について聴取し、自動車の初期品質に関するユーザー評価を明らかにする調査。今年で 14 回目の実施となる。

9 カテゴリーは以下の通り：

「外装」、「走行性能」、「装備品／コントロール／ディスプレイ（FCD）」、「運転支援」、「インフォテインメント」、「シート」、「空調」、「内装」、「パワートレイン」。

全ての不具合項目は車 100 台当たりの不具合指摘数（Problems Per 100 vehicles = PP100）として集計され、スコアが低いほど不具合指摘が少ない（品質が高い）ことを示す。

■ご参考：[J.D. パワー ジャパンのプレスリリース](#)

以上